

平成16年度

共同研究（特定課題）

「社会保険病院におけるDPCに関する調査研究」

報 告 書

平成17年8月

社団法人 全国社会保険協会連合会

平成16年度 共同研究

「社会保険病院におけるDPCに関する調査研究」

班 長	宮 城 社 会 保 険 病 院	院 長	三 浦 幸 雄
班 員	札 幌 社 会 保 険 病 院	院 長	秦 温 信
	社 会 保 険 中 央 総 合 病 院	院 長	斉 藤 寿 一
	社 会 保 険 群 馬 中 央 総 合 病 院	院 長	石 川 功
	岐 阜 社 会 保 険 病 院	院 長	澤 田 健
	健 康 保 険 諫 早 総 合 病 院	院 長	飛 永 晃 二
	佐 賀 社 会 保 険 病 院	院 長	加 藤 收
	産 業 医 科 大 学 公 衆 衛 生 学 教 室	教 授	松 田 晋 哉
協 力 者	全 国 社 会 保 険 協 会 連 合 会 事 業 部 企 画 情 報 課 シ ス テ ム 開 発 室	室 長	田 中 和 夫
事 務 局	宮 城 社 会 保 険 病 院 経 理 課		

目 次

序	1
I. 研究の目的と方法	2
1. 研究の目的	2
2. 研究の方法	2
3. 調査項目と対象	2
II. 集計の結果	4
1. DPCの病院機能に対する影響	4
1) 入院診療報酬請求額について	4
2) 入院一人一日あたり診療報酬請求額について	6
3) 平均在院日数について	8
4) 病床利用率について	9
5) 再入院患者について	9
6) 手術後死亡患者数について	10
7) 産科における帝王切開の頻度について	11
8) 各種臨床検査の外来・入院別実施状況について	11
9) ヒヤリ・ハットおよび事故（過誤）発生件数について	15
10) 退院時転帰と退院先について	17
参考資料（DPCの病院機能に対する影響に関する資料）	21
2. DPC導入による患者、医療担当者および地域医療に対する影響	34
1) アンケート調査の概要	34
2) アンケートの集計結果の表示について	34
3) アンケートの集計結果	37
① 達成度・DPCの医療に対する影響：医師の立場から	37
② 患者満足度と医療の質、業務内容：看護師の立場から	51
③ 医療に対する満足度と医療の質について：患者（家族）の立場から	64
④ 経営方針および業務内容の変化：DPC 施行病院の立場から	79
3. 調査研究のまとめと結論	85
III. 定点観測システムを用いたベンチマーク分析による	87
DPCの評価に関する研究	
付：参考資料（アンケート調査票）	129

序

平成15年度に特定機能病院等82施設を対象に新しい医療制度としてDPC (Diagnosis Procedure Combination、診断群分類別包括評価) が導入され、平成16年度からは社会保険病院をはじめ公的、私的病院など62施設においても試行的適用が開始された。DPCは単なる診療報酬の新しい支払い方式というだけでなく、個々の医療機関における医療の内容や地域医療の在り方にも広く影響する可能性が指摘されており、病院経営のマネジメントツールとしての意義も強調されている。今後、DPCが多くの医療機関に導入された場合、わが国の医療環境は大きく変化していくものと考えられる。厚生労働省においてもDPCの実施に伴う問題点について多方面からの調査を企画実施しているが、データの多くは特定機能病院等から収集されており、DPCが一般病院に導入された場合に派生してくる問題点に関する調査は今後の課題として残されている。

したがって、これらについて検討しておくことは保険者病院である社会保険病院にとって極めて重要な使命と考えられる。平成16年度は、全国の社会保険病院52施設のうち、既に25病院がDPCの試行的適用病院として、また13病院が調査協力病院として参画している。そこで、DPCの試行的適用病院ならびに比較対照病院として調査協力病院と今回は参加していない14病院を対象として、共通の項目について比較検討することができれば、グループとしての利点を生かした独自の研究成果が期待できるものと考えられた。

このような趣旨から本研究班が組織され、平成16年度は以下の諸点について検討を加えた。

- ① DPCの病院機能に対する影響
- ② DPC導入による患者、医療者、地域医療機関に対する影響
- ③ DPCによる医療マネジメントの評価と可能性

本書では、これらの諸点について調査結果を報告する。社会保険病院においてDPCが導入された初年度の実態について興味ある多くの知見が報告されており、関係各位の参考に供したい。

本研究は、比較的短期間のうちに企画実施されたにも拘わらず、多くの施設から熱心な協力が得られ、ほぼ予定通りのデータが収集されたことに対し深甚なる謝意を表したい。また、各病院の診療指標に関する膨大なデータを集計して頂いた全国社会保険協会連合会事業部企画情報課の関係者諸氏、ならびにアンケート調査の集計を担当された宮城社会保険病院経理課の諸氏にも心から感謝申し上げたい。

平成17年8月

研究班を代表して 三浦 幸雄 (宮城社会保険病院)